



北陸信越ブロック ちゃばたけ通信 ■2003年 秋季号

Tea Field

■発行 (社) 茶道裏千家淡交会青年部 北陸信越ブロック事務局

2003年度の約束

- ・連絡会強化→各地で共同の事業、インターネットによって結ばれた青年部
- ・次世代の人材育成→ブロック内研修チーム制度
- ・青年部会員数の増強→2003年度北陸信越ブロックは昨年より増加達成

茶道裏千家青年部 大 樋 年 雄
北陸信越ブロック長

北陸信越ブロック長として二期目を務めさせて頂いています。その間に公約したことを実践させて頂いたことがいくつかあります。連絡会を強化することがひとつでありましたが、連絡会代表はブロック役員として、彼らを中心に各青年部が各地で共同の事業を行なうようになりました。また青年部会員が互いにインターネットによって結ばれており、広範囲なブロックではありますが、今では役員が何度もメールで情報交換したなかで会議に臨んでいます。もうひとつに次世代の人材育成をめざすための研修チーム制度があります。29青年部からの代表によって研修が重ねられるなかで新しいリーダーが生まれてきそうです。そして何より北陸信越ブロックは今年度の会員数が昨年を上回りました。これは皆様の努力の御陰であることは言うまでもありません。心から感謝いたしております。

さて、裏千家で茶を学ぶ青年が集まる意味は何なのでしょう？私も自問自答していません。

今の時代は何か歯車が合っていないと言う我々。でも何もしようとしめない我々。どこかに「いいものを」いいと言える心、新しいことを「新しい」と認めれる心。裏千家茶道は、失いかけた人と人の心の伝播を我々に教えてくれています。

新家元のもとに青年部、連絡会、ブロックとのネットワークを密にすることで、さらに意味ある活動を続けていこうではありませんか。9月6日、全国大会では呈茶席を我々のブロックが担当します。心をひとつにできるチャンスです。京都で会いましょう。

合掌

慶 祝

坐忘齋宗匠第十六代御家元継承記念
社団法人 茶道裏千家淡交会

第35回 信越・北陸地区大会

平成15年4月11日(金)・12日(土)

平成15年度 地区大会スローガン『一盃で感謝・合掌・仕え合い』

主催：社団法人 茶道裏千家淡交会総本部 社団法人 茶道裏千家淡交会信越・北陸地区 主管：社団法人 茶道裏千家淡交会中越支部

中越支部中越青年部 部長 加藤 茂都

桜もほころび始めた4月11日、12日に長岡支部主管の第35回信越・北陸地区大会が、長岡市で開催されました。

会員数約400名と地区内でも小規模の中越支部ですが、発会15年にして初めての開催である上に、坐忘齋宗匠第16代御家元継承記念としても最初の大会を坐忘齋御家元ご夫妻・大谷宗裕師・納屋宗人師をお迎えして、無事終わることができ、感激もひとしおです。

茶会は濃茶席を中越支部が担当し、薄茶席は一席を新潟支部にお願いし、もう一席を青年部と学校茶道合同で担当しました。特に青年部学校茶道合同席は、ことさら部員数が少ないためブロックの方々に応援をお願いしましたところ、快くお引き受けいただき、茶席は滞りなく運営することができました。なにぶん不慣れな私たちを助けていただきましたことを会員一同心よりお礼申し上げます。

初めての貴重な体験をこれからの青年部活動に生かしていきたいと思えます。

今後は会員増強に繋がるように誰もが気軽に参加できるような茶会を計画し、地域の方々に裏千家茶道を知っていただきたいと思っております。

そして、親支部、青年部との交流をはかり、相互理解に努めて親先生に一人でも、会員を推薦していただけるようお願いしたいと思います。

大会日程 4月1日(金) 第1日目

- 記念茶会
 - 時間 午前9時～午後4時
 - 受付 午前8時30分～午後3時
 - 濃茶席 中越支部席 ハイブ長岡 2階 特別会議室「けやき」
 - 薄茶席 新潟支部席 ハイブ長岡 1階 大展示ホール
 - 薄茶席 青年部・学校茶道部席 ハイブ長岡 1階 大展示ホール
- 会 議
 - 正副支部長・幹事長会議
(学校茶道連絡協議会委員長・青年部部長を含む)
 - 会場 ホテルニューオータニ長岡 2階 柏の間
 - 時間 午後4時～午後5時
- つ ど い
 - 準教授・茶名揮受者ならびに新入会員のつどい
 - 会場 ホテルニューオータニ長岡 2階 NCホール
 - 受付 午後3時30分～午後3時50分
 - 時間 午後4時～午後5時
- 懇 談 会
 - 会場 ホテルニューオータニ長岡 2階 白鳥の間
 - 受付 午後4時30分～午後5時15分
 - 時間 午後5時30分～午後7時



お家元様ご夫妻をお迎えして

4月2日(土) 第2日目

- 大会式典
 - 会場 長岡市立劇場
 - 受付 午前8時30分～午前9時15分
 - 式典 午前9時30分～正午
 - 第1部 お茶湯の儀
 - 第2部 式典
 - 第3部 ご宗家とのつどい
 - 第4部 特別ご講演
- 点 心
 - 会場 長岡市立劇場
 - 時間 正午～午後2時
- 記念茶会
 - 時間 午後12時30分～午後4時
 - 受付 午後12時15分～午後3時
 - 濃茶席 中越支部席 ハイブ長岡 2階 特別会議室「けやき」
 - 薄茶席 新潟支部席 ハイブ長岡 1階 大展示ホール
 - 薄茶席 青年部・学校茶道部席 ハイブ長岡 1階 大展示ホール



伊住宗匠様を偲ぶ思い出のパネル展



床

薄茶席

中越支部
青年部・学校茶道部合同

坐忘齋御元筆

無心是我師

悠久椿 延齡草

信楽

青貝鷲 錆塗 丸

御園

富士釜

色絵唐子俵

鵬雲齋大宗匠好銀杏唐草 平棗
鵬雲齋大宗匠在判

坐忘齋御家元作 銘 楽事

白 双鶴の絵

祥瑞写 鵬雲齋大宗匠箱

一燈好つぼつぼ 鵬雲齋大宗匠箱

紫交趾 六瓢

曲

鵬雲齋大宗匠御好 銘 珠の白

千鳥 波

潮干狩り詩絵 盆

鵬雲齋大宗匠好桑網代手付
鵬雲齋大宗匠在判

南京染付

火入

煙草盆

菓子器

菓子

茶

建水

蓋置

替替

茶碗

茶杓

薄器

水指

釜

棚

香合

花入

花

光春造

是真造

大和屋製

小山園詰

翠嵐造

即全造

香齋造

長左衛門造

玉榮造

淡幽造

一圭造

近左造

貞光造



坐忘齋お家元様、田中直紀中越支部副市部長とご一緒に



青年部・学校茶道合同席



第36回 北陸信越ブロック会員大会

H15. 6. 21(土)・6. 22(日)

於 山代温泉 ホテル百万石

主 茶道裏千家淡交会石川南支部 加賀・九谷青年部

石川南支部青年部連絡会代表 前田 早苗

梅雨とは思えない程暑く晴れた平成15年6月21日・22日の両日に、加賀の地で約290名の参加者を迎え、第36回北陸信越ブロック会員大会を、皆様のご協力にて無事成功に終わることができましたことを心より感謝申し上げます。

また、ご多用の中、快く今回講師をお引き受け下さり、御講演をして頂きました那谷寺御住職木崎馨山様、淡交会専務理事関根秀治様、並びにご参加賜りました総本部青年部課長野口耕一様を初め親先生方、青年部顧問、相談役の皆様には二日間親身になってご指導頂き有り難く厚く御礼申し上げます。

“湯の里加賀で育もう友情の和”をテーマとして、加賀山代温泉ホテル百万石を会場に開催致しました今大会の一日目は、石川南支部の地域を良く知ってもらいたいとの思いから、山代・大聖寺・山中・粟津・能美小松の五コースに分かれて観光体験を楽しんでいただきました。吹き抜けの空間が心地好いふれあい広場にしつらえた加賀・九谷青年部合同席は、地元作家の作品で道具組した立礼席で、観光後コース別にお薄一服でおもてなし致しました。開会式では来賓の皆様より祝辞を賜り、懇親会は大会テーマの如く、友と語り多くの友情の和を育まれたのではないのでしょうか。二日目の朝は、研修チームと役員のブロック茶席で始まり、木崎様が「越の白山と私達古代より白山の歴史を辿って」の演題で講演下さり、関根様は「御家元指導方針と青年部」について講演いただきました。お二人のお話はとても興味深く、自分を見詰め直す機会を与えられたように思いました。そして閉会式は野口様の講評、来年開催の富山東・富山西両青年部のアピールで二日間の日程を終了しました。

最後にご参加の皆様には十分なおもてなしができず、ご迷惑をおかけしたことを心よりお詫び申し上げます。二日間本当に有難うございました。

大会日程

【1日目/6月21日(土)】

10:30 ~	受付
11:00 ~ 12:30	ブロック協議会
13:00 ~	観光体験コース
15:00 ~ 18:00	加賀・九谷合同席
18:30 ~ 19:20	開会式
19:30 ~ 21:00	懇親会



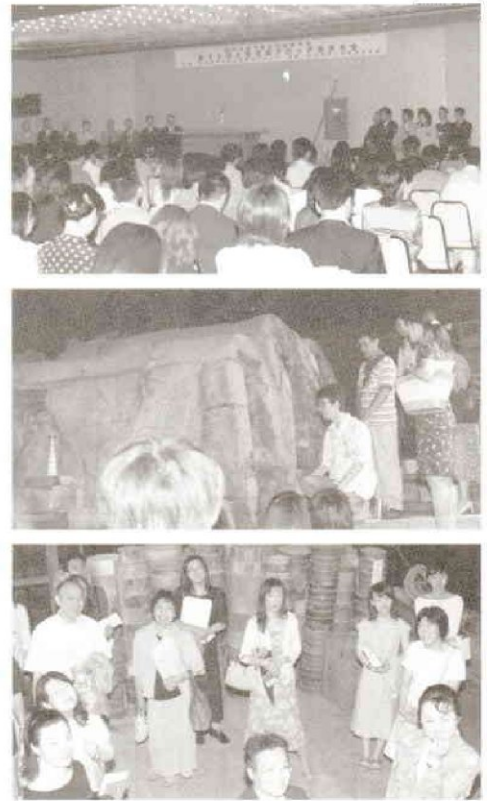
【2日目/6月22日(日)】

6:30 ~ 8:00	ブロック茶席
7:00 ~ 8:30	朝食
9:00 ~ 10:30	講演1 木崎馨山師
10:30 ~ 11:30	講演2 関根秀治氏
11:30 ~ 12:00	閉会式



床 坐忘齋御家元筆 扇面 楽亦在其中
 花 花 九代長左衛門造
 花 入 カキラン、ハマナス、シマアシ
 大樋飴 掛筒 青年部造
 立礼 雛鶴 十二代寒雉造
 青白磁 保雄造
 薄茶器 時鳥蒔絵 吹雪 正博作
 茶杓 大亀老師作共筒箱 銘岩清水
 茶碗 色絵 撫子文 平 鵬雲齋大宗匠箱 香雲造
 朝霧釉 翠恒造
 蓋置 南鐔 七宝蒔絵 政博、正博合作
 建水 塗曲 表朔造
 薄茶 坐忘齋御家元御好 関の白 一保堂詰
 菓子 滴々 福文製
 器 赤絵鉢 菁華造
 盆 挿合 丸 文彦造
 火入 祥瑞詩入
 莩 独楽 初代永寿造

本席



第12回 少年少女ジャンボリー

主管 石川南支部青年部連絡会 H15.7.26~27

石川南支部 九谷青年部 山本登志美

今年も小松市大杉町の「大杉少年自然の家」において石川南支部主管「第12回少年少女ジャンボリー」を開催いたしました。

初日はあいにくの曇り空でしたが、まず「自然の家」近くの小川に放流された岩魚を子供たちが手掴みでつかまえ、さばいた後炭火焼きにし、皆で昼食として頂きました。

午後は恒例の陶芸教室です。講師の地元大杉町在住の陶芸家日暮宗三さんにご用意頂いた粘土を、皆、思い思いの形に仕上げ、焼き上がりを楽しみにそれぞれの作品を日暮さんに託しました。

そして夕食後は他の二団体と協力し、薄暮の屋外でまず呈茶、続いてきもだめしです。呈茶では加賀青年部・行松宏展さんの干菓子「鬼せんべい」と「ひとだま」できもだめしの気分を盛り上げ、日暮れと同時にきもだめしの開始です。他の2団体の引率者も大変な力の入れようで、次々に現れるいろいろな「おばけ」に子供たちは大はしゃぎで、強烈な思い出となったようです。

二日目はお菓子作り教室とお茶の実践教室です。子供たちは行松さんの指導で主菓子「夏祭り」、干菓子「枝豆」を作り、自分たちで作ったお菓子を手にお茶教室の始まりです。経験のある子も、お茶は初体験の子も我々の指導を受け、みようみまねでお茶を頂き、茶筌を持ち一所懸命お茶を点てていました。子供たちにとって普段、あまり接点のないお茶ですが、この経験で少し身近になったようでした。


今年で12回を数えるジャンボリーですが、今回は昨年以上に他団体と交流を深め、二日間にわたる呈茶、お茶教室で大変充実したものとなりました。





青年部の目指すもの

全国代表者会議副議長
北陸信越ブロック直前ブロック長 戸谷 全邦



青年部会員の皆さんは、仕事にお稽古に青年部活動にとお忙しい毎日をお過ごしのことと思います。

早いもので、青年部活動をはじめてから既に20年以上もの月日経りました。私自身、繁忙な日常にとり紛れて、越し方を振り返るゆとりなどないままに過ごしてきたものの、私の青年部活動は、旧青年部と新青年部とがほぼ同じ長さになりました。もうすでにこれを読まれる皆さんの大半の方は、現在の青年部体制になってから始められた方がほとんどだと思います。

平成2～3年頃から全国で湧き起こった激動の青年部改革の荒波を抜け、第十六代坐忘齋お家元のもと、新たな希望に満ちた時代に入ろうとしています。しかしながら、52年に及ぶ青年部の歴史を経た今、私達が青年部活動をしている上で、いろいろな問題が見えてきていることは事実です。たとえば、会員が増えず活動上、また、財政面でも支障があること。また、部長をはじめ役員のみ手がないこと。それに伴って新しい役員ばかりで運営をしているが、どう進めていいかわからなくなっていることなど。私もいろんな場面でそんな問題を感じることがあります。

しかし、「青年部綱領」を読んでいただければわかるように青年部は単独で存在するのではなく、淡交会の組織の一員として位置付けられていますし、自己研鑽しながら社会貢献することを目的としております。ゆえに親支部と報告・連絡・相談を密にとることは当然のことですし、その中で組織内に対する理解を深めてもらうよう働きかけていくことが大切です。そして、より多くの会員を先生方から推薦をしていただけるよう青年部自身が会員拡大・増強への意識を常に高く持ちつつ、行事を推し進めていかねばなりません。

また、もう一つの目標である地域社会との取り組みについては、今の正副団の中でも大変に議論になったところです。というのは、現在の青年部活動がひと周り小さく、内向きな活動に片寄っているのではないかという点です。青年部発祥の原点を考えれば、広く社会に働きかける役割と、青年部本来の持ち味…爽明さ、勇気、活力、行動力、軽やかさ…などを十分に発揮することによって果たせるものと思います。いうまでもなく我々青年茶人は、まだ道半ばの未熟な者の集まりです。しかし、青年部という組織の中にいることにより社中を越えて語らいがあり、お互いの若さと行動力とで知識、経験不足を補いつつ、親先生方とは違った形で社会に影響を与えられる絶大な力をもっていけるものであると確信しています。

青年部活動をする上で良質な活動内容とその結果を求めるならば、目標の設定が重要となってきます。その目標が活動の中で明確に見えなくなると何のための青年部活動かというのがわからなくなってくる。もしくは、前例通りの仕事に終始した活動になってきます。

外部に対して行事をすることは、きちんとした主旨、目的を会議の中で機関決定し会員に周知徹底し、また、外部機関に対してきちんとした書類を作成しなければなりません。一般の方に喜んでいただける趣向を考えることは勿論のことですが、こういう一連の作業が青年部組織を続けていく上での大きな研修の場になって行くのだと思います。

どうか皆さんも少し大変な行事に取り組んでいただき、その中で、少しでも社会にお茶を広め、新しい我々の仲間を増やしていく努力をしてみませんか。お茶に関わる長い人生の中のホンの一コマである青年部時代。先生から、仲間から、多くの人達から力を頂き、自分自身もひよっとしたら誰かに力を与えているかもしれない。青年部活動を通して育まれたものが将来大事な宝となり糧となり、それらはきっと皆さんのあとになってそのいい思い出となるはずです。

研修チーム報告

はじめに

北陸信越ブロックでは、会員減少、リーダー育成という問題に対応するため、平成13・14年の2年間にブロックエリア内10支部を訪問させていただきました。その中で、親支部先生方との懇談会においては青年部組織やブロックの役割を説明させていただき、会員増強のために親支部のお力添えをお願いし、青年部活動等について話し合や提案をいたしました。また、茶会では直接先生方に青年部正会員募集のお願いや、青年部についてお話しをさせていただきました。

この時の茶会でお手前、お運びを担当していたのが、各青年部長から推薦された特別チームのメンバーでした。特別チームはこれからの青年部を担う方に青年部の基本理念、青年部組織の理解、茶会での研修を通してブロック内青年部の情報交換を目的としていました。研修が終わり参加したメンバーからは、「仲間作りになり、参加してよかった」「生活の中でお茶に対する優先度が上がった」といった声が多く聞かれました。

実際に研修チームに参加した方々が今回の役員改選で青年部の4役になった例が多々あります。この特別チームに参加した事が、一生懸命な友に刺激を受け、自分もがんばろうという前向きな気持ちに変わっていったのではと思っています。

そこで・・・

ブロックの目的には、①ブロック内各青年部の均衡②ブロック内会員の連絡・親睦・友愛を深める③青年部リーダーの育成【ブロック規約第4条】があります。

昨年の部長研修で各青年部ではリーダーの育成がむずかしいといった話もあり、大樋ブロック長2期目のこの2年間もブロックが将来の北陸信越ブロック及び青年部の中心的な役割を果たす人材育成を目的として研修事業を実施することになりました。ただし、前回特別チームのメンバーから「特別ではないのに特別チームという名前はちょっと」という声もあり、今回は研修チームと名前を改めました。

研修目的・概要

研修期間は2年間です。この研修ではブロックは主に出会いの場、語り合う場を提供します。参加したメンバー同士の積極的な関わりから、自らが「こんなやり方、こんな考え方もあるのだ」と気づいたり、考えたりしていただければと思っています。お茶のこと青年部のことを真面目に考えている人々と広く知り合い、心を許しあい、刺激を与え合う場になるようブロックがお世話いたします。

同じ青年部でがんばる友はもちろん、同じブロック内でがんばる友に励まされることも多いはずです。この研修がきっかけとなり各青年部の次代を担うリーダー及びリーダーを支える人が現れるはずです。

研修に当たり、リーダーの必要性を考えていただきたいため、あえてリーダーは決めませんでした。活動の中で一緒に考えましょう。

研修スケジュール・内容

- 1回目 平成15年6月 [部長研修と同時開催]
開講式、オリエンテーション、3分間スピーチ、
講義Ⅰ「淡交会、ブロック、青年部について」
- 2回目 平成15年6月 [ブロック会員大会]
ブロック協議会傍聴、呈茶席担当
- 3回目 平成15年8月・10月
灰型勉強会
- 4回目 平成16年
講義Ⅱ「未定」
グループディスカッション
- 任意 平成16年7月
青年の船
- 5回目 平成16年 [ブロック会員大会]
呈茶席担当
- 6回目 平成16年11月
3分間スピーチ・閉講式

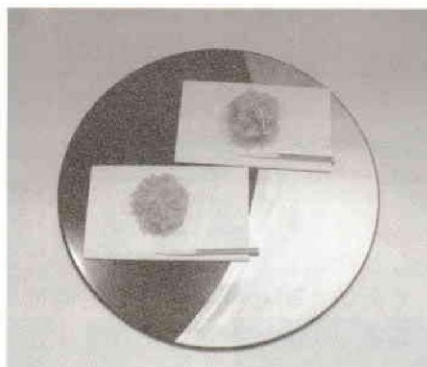
ブロック会員大会 呈茶席担当

開催日時：平成15年6月22日(日) 6時30分～8時
 会場：ホテル百万石本館1階「ふれあい広場」
 参加者：270名

白山青年部 東 亜紗美

北陸信越ブロック内の各青年部から推薦を受けた研修員が研修の一環として、第36回北陸信越ブロック会員大会2日目の早朝、呈茶席を設けました。テーマは、「初夏の朝～玉露をふんで～」お客様にすがすがしい朝を迎えて頂くというものです。こだわった点は、水、お菓子、お道具です。水は午前2時から汲みに行き、茶席の入口で試飲もして頂きました。お菓子は作りたてを召し上がっていただきたかったのでお客様の前で研修員が制作しました。お道具は青年部に在籍している方の作品を中心にブロック内5県から用意しました。お手前、半東も各県から選抜し、特定の県に負担が集中しないように心掛けました。

2回の会合とほとんどがメールでのやり取りだけにもかかわらず、研修チームのみんなが一つとなって取り組めたことは、とても素晴らしいことだと思いました。石川南支部への後片付けの配慮がたりなかったこと、道具の扱い、役割担当と準備・後片付けの手順を細かく決めておくべきだったなどの反省点は、次回に活かしていきたいと思います。



青年部活動は部長という立場がその人を部長にし、委員長という立場がその人を委員長に育てると思っています。必要なのは少しの責任感と奉仕の気持ちではないでしょうか。先輩が後輩のために感動を伝え、やがて後輩が先輩と呼ばれるときには後輩に感動を伝えられるようになっているはずです。

日常は目の前の相手とギブ&テイクをしがちですが、親が子供を思うように、先輩が後輩のために思いを寄せる良い連鎖が続くようにしたいものです。

ブロックフォーラム報告書

ブロックフォーラムは大樋ブロック長発案のもとスタッフの想いを一杯詰め込み部長達の要望も取り入れて開催されました。親先生お社中の方を対象としたお茶会、親支部役員の先生方との懇談会、特別チームの結成、役員研修の実施などです。マニュアルを作りブロック協議会にかけ決定致しましたが、強制ではなく各支部青年部で検討し要請を受けて開催する事業と致しました。

<お茶会>

前回の全国大会の徳禅寺でのブロック席を再現し、席中で先生方に大樋ブロック長と戸谷全国代表者会議副議長よりブロック組織・活動の説明と青年部の実情を訴え会員拡大のご協力をお願いする事に致しました。

<親支部との懇談会>

先生方は青年部活動内容の変化と会員数の減少をひどく心配されておられました。しかし懇談会はあくまでもきっかけであって、各青年部が先生方と対話をしながら会員拡大と青年部活動にご協力ご理解を頂く必要があると思います。育成委員会も設置されていますが、まだ一度も開催されない支部もあると聞きます。せっかく親支部に起こった青年部育成の火を消す事なく、皆様の活動の発展の為に役立て下さるようお願い致します。

<特別チーム>

若い世代の人材育成の為に結成致しました。研修の一環としてフォーラムに参加しながらの1年任期の研修だった為、1~2期生には十二分な時間が取れずもっとたくさん伝えることがあったのにと残念です。今年度の3期生は2年任期なので、じっくりと青年部活動の意義・基本理念を勉強して頂きたいと思っています。

<役員研修>

要請により実施しました。きちんとした基礎研修は青年部活動に対する考え方をしっかりと身に付ける上で、また個々の資質アップの上で大切な研修です。しかし時間的な問題・指導する人の問題など開催するには単位青年部ではなかなか実施できない状況にあります。ブロックでは、連絡会(支部)単位で委員長を含めた役員研修の要請があれば、ブロックスタッフが寄せて頂き開催する事は可能だと思っております。

ブロック内9支部を廻り終える事が出来たのも、開催にあたり準備をして頂いた各支部青年部の協力のお蔭と感謝しております。しかしながら、複数青年部のある支部では連絡会により対応が遅いところもあり、改めて連絡会の強化の必要性を実感させられました。大樋ブロック長が今年より連絡会代表が参加する会議を新たに規約に含めました。会員の意見や要望は各部長より連絡会代表へそしてブロックへとより伝わりやすいシステムになりました。ぜひこのシステムを十二分に活用して頂きたいと思っております。

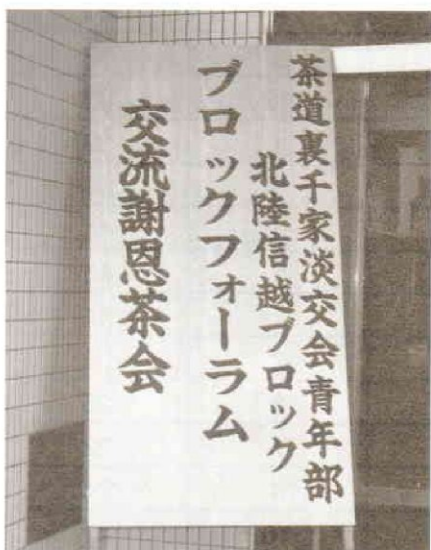
以上がフォーラムの報告ですが、この実施によりブロックスタッフは通常のプロック事業の他に2年で18日間の拘束とそれに伴う会議とで大変な時間と労力を強いられた事と思います。でも、終わってみて誰一人不服を言う人はありませんでした。大変ではあったがスタッフにとってフォーラムを通じて得た事は大きかったと思います。

最近よく『青年部が仲良し会になっている』と言われます。もちろん仲良くすることは良い事です。でも本来青年部活動をする事によって得られる大切なものや機会を逸しているかもしれないのです。大変な思いをして実施する時、それが大きければ大きいほど得るものは大きいと思います。もちろん会員は仕事や家庭を持ち忙しい人達です。でもその中をやりくりして青年部活動をする事によって自らの『近代人としての人間形成』に役立つのではないのでしょうか。

また青年部綱領にある『同志的結合によって結ばれた友情と情熱』とは何なのか。人が集えば友情が生まれます。なぜわざわざ“同志的結合によって結ばれた”とあるのかを今一度お考え頂きたいと思います。

今後ともブロックからいろんな提案が出されると思いますが、皆様のほうからもどんどん意見や疑問を投げ掛けて頂き、一体となって青年部活動をされるよう期待致しております。同じ志を語り合える仲間をたくさん作り、そしてその人達と熱い情熱をもって色んな事にチャレンジしてこそ青年部だと私は思います。皆様一人一人がオンリーワンの活動をされることを祈って報告とさせていただきます。

北陸信越ブロック前監事・北陸信越ブロック相談役 松永修侍



平成15年度 北陸信越ブロック 登録人数最終確認表

7月12日現在

県名	支部名	青年部名	14年5月末 登録人数	14年10月末 登録人数	増加数	15年5月末 確定会員人数
新潟	新潟	あさひ	47	39	4	43
		上越	43	33	5	38
		とき	70	54	12	66
	中越	中越	18	16	3	19
	佐渡	おけさ	40	35	0	35
長野	長野県	諏訪	32	30	2	32
		東信	58	58	1	59
		中信	56	47	21	68
		南信	34	32	1	33
		北信	40	39	1	40
		善光寺平	29	26	7	33
富山	魚津	うおづ	47	37	8	45
	富山	富山東	39	31	6	37
		富山西	44	38	6	44
	高岡	いずみ野	32	30	3	33
		志貴野	43	33	10	43
		となみ野	42	38	1	39
石川	石川	金沢	61	56	5	61
		金沢城北	45	37	4	41
		金沢南	45	43	2	45
		七尾	46	44	7	51
		能登	40	33	2	35
		白山	27	22	3	25
	石川南	加賀	18	15	7	22
		九谷	22	20	4	24
福井	福井	越	34	26	16	42
		日野	41	41	5	46
		いとよ	26	23	2	25
		振媛	25	21	2	23
	合計		1,144	997	150	1,147

編集後記

9月の全国大会では皆さんのご健闘を祈ります。多忙の中、原稿をお引き受け頂いた方々に心より感謝申し上げます。(久)

夏祭りも終わり、心なしか風鈴の音もか細く聞こえる頃となりました。いざ、天高く!!…
それぞれに実り多き秋となりますように(午)